

定 例 記 者 会 見 資 料

日時 平成30年12月3日(月) 11:00～

場所 白石市防災センター2階 会議室

1. 12月市議会定例会提出議案について
2. その他

第433回白石市議会定例会予定表

平成30年12月7日～12月19日（13日間）

月 日 (時)	曜	区 分	摘 要	付 記
12/7 (10:00)	金	本会議 <u>ネット中継</u>	開 会 会期の決定 第69号議案～第80号議案（12件） 説明 【議案質疑通告締め切り（午後5時）】	(付託協議) 各常任委員会 議会運営委員会
12/8	土	休 会		
12/9	日	休 会		
12/10	月	休 会		
12/11 (10:00)	火	本会議 <u>ネット中継</u>	第69号議案～第75号議案（7件） 質疑、委員会付託省略、討論、表決 又は質疑、委員会付託 第76号議案～第80号議案（5件） 質疑、予算審査特別委員会設置・付託 【一般質問通告締め切り（午後3時）】	
12/12	水	休 会 <u>ネット中継</u>	予算審査特別委員会審査	議会運営委員会 (12:30)
12/13	木	休 会 <u>ネット中継</u>	予算審査特別委員会審査 常任委員会審査	
12/14	金	休 会	常任委員会審査	
12/15	土	休 会		
12/16	日	休 会		
12/17 (10:00)	月	本会議 <u>ネット中継</u>	市政に対する一般質問	
12/18 (10:00)	火	本会議 <u>ネット中継</u>	市政に対する一般質問（※） 【討論通告締め切り（正午）】	
12/19 (10:00)	水	本会議 <u>ネット中継</u>	常任委員会付託議案（ 件） 委員長報告、質疑、討論、表決 第76号議案～第80号議案（5件） 委員長報告、質疑、討論、表決 議提第 号 説明、質疑、討論、表決 議員派遣の件 閉 会	

※市政に対する一般質問の日程は、質問者数の関係で1日となる場合があります。

第433回白石市議会定例会提出議案件名一覧

番 号	件 名
第69号議案	仙南地域広域行政事務組合理約の一部を変更する規約
第70号議案	白石市農産物等販売施設条例
第71号議案	白石市議会議員及び白石市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例
第72号議案	白石市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例
第73号議案	白石市旧学校利用施設条例の一部を改正する条例
第74号議案	白石市介護予防センター条例の一部を改正する条例
第75号議案	指定管理者の指定について（あしたば白石）
第76号議案	平成30年度白石市一般会計補正予算（第4号）
第77号議案	平成30年度白石市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
第78号議案	平成30年度白石市介護保険特別会計補正予算（第3号）
第79号議案	平成30年度白石市水道事業会計補正予算（第1号）
第80号議案	平成30年度白石市下水道事業会計補正予算（第2号）

平成30年度 12月補正予算概要

担当：総務部財政課

平成30年度12月一般会計補正予算額は4億101万2千円で、累計では153億5,242万7千円となります。

今回の補正予算では、小中学校エアコン設置事業をはじめ、文化体育活動センターアリーナLED照明更新事業などの経費を計上しています。

事業別の詳細は別紙1から4のとおりです。

(単位:千円)

会計名	補正前の額	補正額	総額
一般会計	14,951,415	401,012	15,352,427
特別会計	国民健康保険	400	3,884,630
	介護保険	2,318	3,868,045
	計	2,718	8,185,713
合計	23,134,410	403,730	23,538,140

※特別会計の「計」及び合計欄は今回補正のない特別会計を含む。

企業会計

(単位:千円)

会計名	補正前の額	補正額	総額
水道事業会計	1,628,644	5,435	1,634,079
下水道事業会計	1,994,258	1,870	1,996,128

※企業会計は収益的支出+資本的支出

12月補正の主な事業及び金額

一般会計

(単位:千円)

事業名	金額
○小中学校エアコン設置事業	311,039
○学力向上プロジェクト事業	318
○文化体育活動センターアリーナLED照明更新事業	48,276
○第六次白石市総合計画・第三次白石市国土利用計画策定事業 【債務負担行為:(期間)平成30年度~平成32年度、(限度額)20,000千円】	

[別紙1]

平成30年12月議会 記者会見資料
平成30年度12月補正予算関係

小中学校エアコン設置事業

担当：教育委員会学校管理課

平成30年夏に記録的高温を記録したことにより、国が積極的にエアコン設置への方向性を示したために、児童生徒の教育環境の整備と健康を守る観点から、市内小中学校の普通教室等にエアコンを設置するものです。

[歳入]	国庫補助金				
	ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金	90,680	千円		
	市債				
	ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金事業に係る補正予算債 (小中学エアコン設置事業)	220,200	千円		
[歳出]	10款 教育費 2項 小学校費	1目	学校管理費		
	4事業 小学校管理運営費				
	15節 工事請負費			175,250	千円
	10款 教育費 3項 中学校費	1目	学校管理費		
	4事業 中学校管理運営費				
	15節 工事請負費			135,789	千円
			合計	311,039	千円

平成30年12月議会 記者会見資料
平成30年度12月補正予算関係

学力向上プロジェクト事業

担当：教育委員会学校管理課

平成30年度実施された「全国学力・学習状況調査」の本市の結果は、全国及び宮城県の正答率平均値を下回る結果となり、学校の役割は『子どもたちに「力」をつける』ことであり、学力もその一つであることを考えると、今回の調査の結果は非常に重く受け止めなければならない状況にあります。

そこで、子どもたちの学力向上の一つの手だてとして、『学力・学習状況調査』を、埼玉県と共同して平成31年4月に行うものです。

○調査の目的

児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばすことを目的としています。

○導入しようとする学力・学習状況調査の特徴

一人一人の子どもに対し、小学4年生から中学3年生まで年1回継続して行うことにより、「一人一人の子どもの学力の経年変化などを継続して把握」することができるものです。

○学力の経年変化などを継続して把握するために

児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばすためには、子どもたちの力がどれだけ伸びたかを正確に把握する必要があります。

現在、このことに着目して自治体独自に埼玉県が学力・学習状況調査を行っており、今回埼玉県と共同で実施することを予定しているものです。

【埼玉県学力・学習状況調査】

I R T（項目反応理論）という調査手法を採用しパネルデータを用いた調査。

- ・ I R T（項目反応理論）：問題の難易度を踏まえ、得点を調整することで、異なる調査での比較ができるため、学力の経年変化の把握が可能
- ・ パネルデータ：同一児童生徒や学校の変化を継続的に把握

○以前まで行っていた学力調査との違い

同一の児童生徒が進級するたびに「継続（追跡）調査」することで、子どもたちがどれだけ力をつけたか、どれだけ伸びたのかが把握できることが、これまでの学力調査と大きく違いがあります。

○事業概要

- ・ 実施予定日 平成31年4月11日（木）
- ・ 対象学年 小学校4年～中学校3年（約1,630名）
- ・ 内容

教科に関する調査：国語、算数、数学、英語（中学校）

質問紙調査：学習に対する意識、生活の様子、規律ある態度等

[歳出]	10款	教育費	1項	教育総務費	3目	教育振興費
	7事業	学力向上パワーアップ支援事業				
	9節	旅費				19千円
	13節	委託料				299千円
				合 計		318千円

平成30年12月議会 記者会見資料
平成30年度12月補正予算関係

白石市文化体育活動センター(ホワイトキューブ) アリーナLED照明更新事業

担当：総務部企画情報課

白石市文化体育活動センターアリーナの照明灯150基につきましては、現在メタルハライド灯（水銀とハロゲンの混合灯）を使用しておりますが、今回その照明灯をLED照明灯に更新しようとするものです。

これにより、現在の照明灯では不可能であった瞬時の点灯や照度の調整が可能となり、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会におけるベラルーシ共和国新体操ナショナルチームの事前合宿やアリーナで開催されるスポーツ大会等各種イベントに対し、更なる柔軟な対応が可能となるだけでなく、照明灯の平均寿命が約5倍となることから、電球交換に要する費用や電気料等のランニングコストの削減が図られるものです。また、水銀灯では電球の経年使用による光量の低下が起こり、アリーナ内での照度のばらつきが発生しておりましたが、今回の更新工事により長期間安定した照度が確保できることから、利用者の満足度向上も図られます。

【事業概要】

- ・LED高天井型設置（拡散パネル下面ガード付） 150灯
- ・既設メタルハライド灯撤去 150灯
- ・調光操作ユニット 4台
- ・調光センサー（親機・子機） 16台
- ・試験調整 一式

[歳入] 市債

地域活性化事業債 43,400千円
（文化体育活動センターアリーナLED照明更新事業）

[歳出] 2款 総務費 1項 総務管理費

20目 文化体育活動センター費 2事業 一般管理的経費

15節 工事請負費

48,276千円

平成30年12月議会 記者会見資料
平成30年度12月補正予算関係

第六次白石市総合計画・第三次白石市国土利用計画 策定事業

担当：総務部企画情報課

第五次白石市総合計画は、計画期間を平成23年度から平成32年度までの10年間としており、今年度で8年目となります。当該計画を本市の最上位計画と位置づけ、基本構想に定める、白石市の将来像に向けて、様々な施策を実施しています。

平成23年5月の地方自治法の改正によって、市町村の基本構想の策定義務がなくなりました。しかし、これは地域主権改革における国から地方への「義務付け・枠付け」の見直しの一環として行われたものであり、市町村における総合計画が役割を終えたことを意味するものではありません。むしろ、市町村が担う事務が高度化、多様化する中においては、市町村の最上位計画である総合計画の役割はますます高まっています。

そのようなことから、本市の目指すべき将来像とその実現に向けた基本的な方針を示して各分野の施策を実施し、戦略的かつ効率的な行政運営と特色あるまちづくりを進めるために、計画期間を平成33年度から平成42年度までの10年間とする総合計画（基本構想・基本計画）を策定するものです。

また、国土利用計画は、総合計画が目指す目標に土地利用の観点から貢献するための計画であるとともに、本格的な人口減少・高齢化に伴い、土地利用状況にも変化が生じていることから、今後の土地利用の方向性を示すために、10年間を計画期間とする計画を総合計画と併せて策定するものです。

【債務負担行為】

- ・ 事 項 第六次白石市総合計画・第三次白石市国土利用計画策定業務委託料
- ・ 期 間 平成30年度から平成32年度
- ・ 限度額 20,000千円